

2026年5月20日

各位

会社名 株式会社アトム
代表者名 代表取締役社長 植田 剛史
(コード番号 7412 東証スタンダード、名証メイン)
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 真一郎
(連絡先電話番号 045-224-7390)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会がその役割・責務を適切に果たし、経営の監督機能および中長期的な企業価値向上に向けた議論が実質的に機能しているかを確認・改善することを目的として、東京証券取引所が定めるコーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 実施の内容

- ・評価対象 2025年4月から2026年3月までに開催された取締役会（全13回）
- ・評価者 すべての取締役（計8名、2026年3月末時点在任）
 - － 取締役（監査等委員である取締役を除く） 4名（うち、社外取締役1名）
 - － 監査等委員である取締役 4名（うち、社外取締役3名）
- ・評価方法 5段階評価および自由記述式アンケート
 - － コーポレートガバナンス・コードに即した6分類27項目を事務局が作成
 - － 取締役会以外の各種委員会等における議論の状況についても反映

2. 評価結果の概要

当社取締役会の実効性は概ね確保されており、内部統制およびリスク管理体制の整備・運用、ならびに経営の監督機能については、前事業年度と比較して改善が認められました。特に、取締役会に先立つ意見交換の場の設置や事前説明の充実により、議論の質の向上および意思決定プロセスの透明性が進展しております。

一方で、当社は足元の経営課題への対応を着実に進めている段階にあり、中長期的な企業価値向上に資する戦略的議論のさらなる深化が課題であると認識しております。

確認された主な課題は次のとおりです。

- ・ガバナンスおよび監督機能

内部統制およびリスク管理体制については、整備・運用の両面で改善が進み、監督機能は概ね適切に機能しております。今後は、運用の定着および実効性の向上に加え、指名・報酬に関する審議の早期化や情報共有の充実を図る必要があると認識しております。

- ・経営戦略およびリーダーシップ

業績回復に向けた取り組みは進展し、一定の成果が見られております。一方で、サステナビリティに関する議論の深度にはさらなる向上の余地があると認識しております。今後は、中長期的な企業価値向上の観点から、取締役会における議論および取り組みの充実を図ってまいります。

- ・取締役会の構成および多様性

取締役会の構成は一定のバランスが確保されている一方で、スキル・専門性の面でさらなる充実の余地があると認識しております。今後は、当社の経営課題に対応したスキルの強化を図るとともに、取締役会全体としての専門性および多様性の一層の充実を通じて、実効性の向上に取り組んでまいります。

3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、足元の経営課題への対応を着実に進めるとともに、中長期的な企業価値向上に資するガバナンス体制のさらなる高度化に取り組んでまいります。

具体的には、指名・報酬に係る審議プロセスの早期化および透明性の向上に加え、取締役会のスキル構成の最適化と多様性の強化、さらにサステナビリティに関する議論の充実を図ってまいります。

これらの取り組みを通じて、取締役会の実効性を一段と高め、企業価値の持続的向上を実現してまいります。

以上